

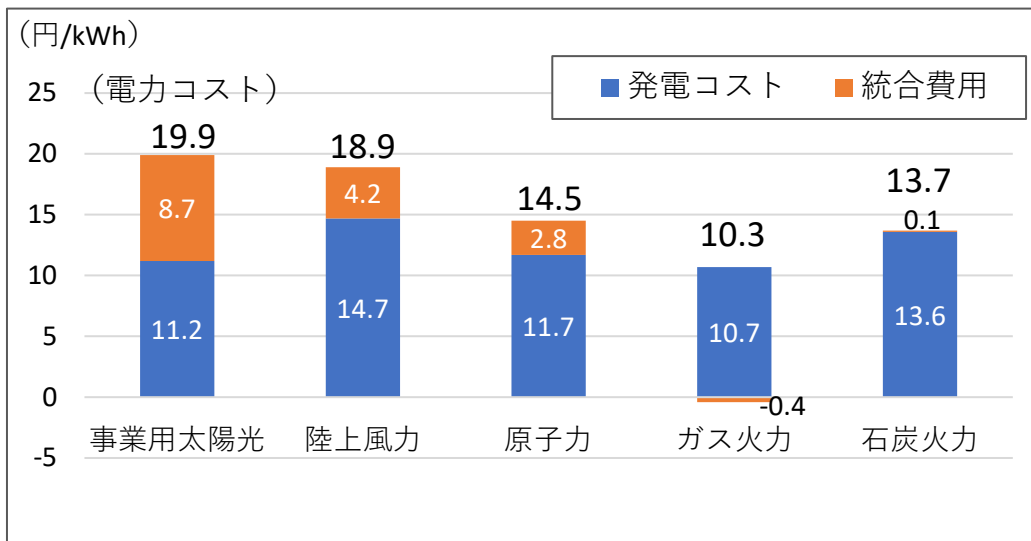
Ⅲ-3-④2030年度 電源別の電力コスト(発電コスト+統合費用の合計)

電力コストは、それぞれの電源で発電する場合の直接コストに加え、その電源を送電線に繋ぎ、安定的に電力を供給するためのコストが、別途、必要です。

例えば太陽光発電を増加させる場合、同時にその分の火力発電の起動停止の費用、低効率での運転、そして揚水発電のロス(30%程度)等が増加してしまいます。これは、夜間や雨の日等であっても、安定的に電気を供給するためのコストとして必要不可欠なものであり、これを統合費用と言います。

従って、太陽光発電の場合は、発電コスト(11.2円/kWh)と統合費用(8.7円/kWh)の合計が電力コスト(19.9円/kWh)となります。

なお、現在検討中の「第7次エネルギー基本計画」において、再度試算することとしております。



出典: 2021/9発電コスト検証WG報告書 P4

電源別の電力コスト(発電コスト+統合費用の合計)